

スポーツパークみやぎ

# コート飛び交う汗と笑顔

46チームが参加した2010年度仙台市ミニテニス協会春季大会が4日、仙台市の若林体育館で開かれ、選手たちの熱気に包まれた。

開会式では、古城チーム ずつの「特別リーグ戦」。(一部)の阿部島信子選手 各ブロック1位チームが決と遠藤祐恵選手が選手宣誓 勝戦に進出した。誓。「すべての技を駆使し 試合は予選からヒートアテ粘り強く戦い、うまいお ップ。フルセットにもつれ酒が飲めるようテッペン目る試合が続出した。レベル指してがんばります」と述の高い試合に、応援団からべ、会場をなごやかな雰囲気は幾度となく歓声が上ががにした。そんな緊迫した雰囲気。そんな緊迫した雰囲気。そんな緊迫した雰囲気。そんな緊迫した雰囲気。

仙台市ミニテニス協会春季大会

## 46チーム 熱戦展開

い。苦しい時間帯もあったが踏ん張れた。これからの1試合1試合を丁寧に、勝てるチームになっていく過程に貢献したい」と大粒の汗をぬぐった。本年度から2部に昇格した富沢チームの佐藤大樹選手は「2勝2敗でした。自分たちができていることと、できていないことが分かった。どうすれば点につなげるか練習に精進します」と語った。2部では蒲町チームが初優勝した。予選からヤングパワーが全開。決勝戦でも好調を維持し2勝1敗で優勝カップを手中にした。中顔で語った。

蒲町チームは若手選手が中心で、着実に成長するのを期待したい。(仙台市・渡辺 勝利)



優勝カップを高らかに掲げる2部優勝の蒲町チームの選手たち

# 仙台市民総体 ミニテニス 荒浜 A が 1 部優勝

仙台市民総合体育大会の第14回ミニテニス大会(仙台市民総合体育協会)が5月5日、太白区の仙台市体育館で開かれた。こどもの日とあって、選手たちは孫や子どもたちの声援が飛び交う中、コート狭しと駆け回った。

大会は年間成績による3部制の団体戦。各チームは女子、混合、男子の3ダブルスで編成する。各部門とも二つのブロックに分かれ、1チームが4試合ずつ戦う特別リーグ戦を行い、ブロック1位同士が決勝戦に進出した。

1部決勝は、荒浜 A が 2-1 で大和 A に競り勝った。強さの秘密は百戦錬磨の経験と、粘り強い精神力にある。サウスポーから繰り出す多彩な技、ボールが円盤のようにつぶれる強力なスマッシュを持ち味に男子ダブルスに出た荒浜 A の末永選手は、「荒浜チームと言えば攻め」と言われているが、守りも頑張った」と語った。

混合戦で1勝した大和 A の荒木佳子選手は「準備は満足。強い相手に勝ったことがうれしい」と流れる汗をぬぐった。2部は西山 B-1 国見ヶ丘 B の決勝となった。力は互角、互いに持ち味を發揮した。ミニテニス特有の技を駆使しての攻防。応援団から「いぞガンバレ」の声援を背に受け、必死にプレーする



1部優勝に貢献した荒浜 A の末永選手

両チーム。的確なボジションングで相手のスマッシュを好レシーブして得点につなげた西山 B が 2-1 で接戦を制した。3部決勝は J O Y ・ B と大和 C の顔合わせ。1勝1敗で迎えた混合戦で、プレッシャーのかかる戦いはシーソーゲームとなった。競り合いに耐えた J O Y ・ B が 10-8 で勝ち、初優勝を手中にした。

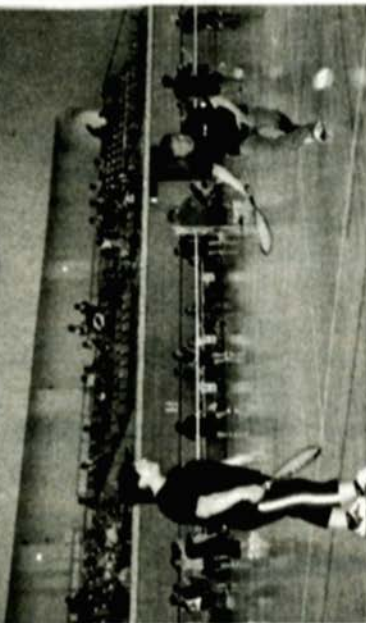
混合戦に出た J O Y ・ B の今野真弓選手は「昨年大病を患い、半年間の治療を受けての復帰デビュー戦。初優勝できて感無量です。チームメイトやミニテニス仲間にも励まされ、病にも勝てたと、印象的な優勝の弁を述べた。対戦した大和 C の高橋法雄さん、善栄さんは「夫婦ペアで決勝戦を戦えて大変幸せです」と声をそろえた。(仙台市・渡辺 勝利)

# スポーツパーク

## みかぎ

土曜日掲載





熱戦、好プレーが相次いだミニテニス夏季大会

# 好プレー 続き白熱

## 仙台ミニテニス協夏季

仙台市ミニテニス協会夏季大会が7月18日、宮城野体育館で開催されました。猛暑で館内は蒸し風呂状態でしたが、試合は白熱。好プレーには興味も関係なく惜しみない拍手が送られました。

参加したのは47チーム。生涯スポーツとしてミニテニスを普及するため、仙台に協会が発足したのは13年前です。指導者のこまやかな指導と熱意によって、大会は山形からチーム、白石からも参加チームを迎えるほど成長しました。

大会は出場チームを3部に分けて団体戦で試合を進めました。男子、女子、複合の3組ずつ対戦し、勝ったチームの勝利です。

1部は荒浜Aが優勝し、ミントAが準優勝でした。2部は優勝荒町、準優勝国員ヶ丘B、3部が優勝国員ヶ丘C、準優勝トリコロールでした。

女子ペアで出場したトリコロールの金田けい子さんと石井ゆり子さんは「準優勝に大いに貢献できて本当にうれしい」と話していました。

おが選抜団体振ミニテニス部は、予選ブロック

で3勝1敗と健闘しましたが、惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。

選抜団体振ミニテニス部は、1997年4月29日に発足しました。その目を特別な日と位置付け、心新たに一年を始動することにしていきます。

練習は月曜と木曜に選

土曜日付「スポーツパーク」では、読者からの原稿を募集します。さまざまなスタイルでスポーツライフレアを楽しんでいる姿や感想、スポーツの魅力などを盛り込み、写真と写真説明を付けて400〜700字程度でレポートしてください。掲載分には感謝を呈します。

掲載希望者は、封書またはフアクス、電子メールで住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、〒980-8660仙台市青葉区五橋1-2の28、河北新報社編集局「スポーツパーク」係にお送りください。

フアクス 022(211)1277・1159  
電子メール sportsdesk@po.kahoku.co.jp  
連絡先はフリーダイヤル (0120) 893389

### 読者レポートを募集します

巻き返し目指す  
楽天にエールを

東北楽天はKスタ宮城でソフトバンクとの3連戦中です。巻き返しを願うファンのメッセージを募集します。

はぎフックス 電子メールに郵便番号、住所、氏名、年齢、職業を明記し、〒980-8660仙台市青葉区五橋1-2の28、河北新報社スポーツ部 楽天へエール

係。フックスは022(214)2033。電子メールはsports@po.kahoku.co.jp  
抽選で西武戦(9月3日)白・Kスタ宮城)のチケットを、各ペア1組にアセットします。中止の場合、振り替へ試合の保証はありません。複数応募、メッセージのないものは無効です。



会社員(46歳)

◆  
試合に負けてもサポーターからはハイキングではなく次の試合に向けたエールが聞こえます。会場にいると心から感動します。サポーターの勝利を願う気持ちは変わりません。ベガルタオーレ! 岩沼市 佐



スポーツパークみやぎ

スポ・レク  
フェスタ

スポ・レク・フェスタ2010ミニテニス大会が9月12日、仙台市若林体育館で開かれた。市内愛好者の42チームが参集し、1〜3部に分かれて熱気あふれる試合を繰り広げた。

試合は女子、混合、男子の3ダブルスで対戦する団体戦。各部2ブロックに分かれ、1チーム4試合の「特別リーグ戦」を行い、ブロック1位同士で優勝を争った。

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

を手にした。

混合ダブルスでは、昨年の全日本チャンピオン中沢友佑選手（荒浜A）と対戦。苦し

惜敗した阿部宣明さんは「おれが頑張れば優勝できたのに」と悔しがった。

みながらも強打を封じた。ミントAの菊地和広さんは「日々の努力が優勝という結果に結び付いたことがうれしい。

3部決勝は、しろいしが2-1で大和Cに逆転勝ち。大会デビュー3年目で初優勝した。男子ダブルス戦に出た高橋輝美さんは「念願の決勝戦で勝つことができ、自信を深められました」と、気持ち良さそうに汗をぬぐった。佐藤さきみさんは「チーム結成5

1 ミニテニス部 ミントA接戦制しV

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝

1部決勝は、ミントAと荒浜Aが対戦。攻撃を得意とする両チームとあって、強力なスマッシュやカットプレーで応戦した。「打倒荒浜」を目標に戦ったミントAが気迫で上回り、2-1の接戦で優勝



3部で優勝したしろいしチームは女子ダブルスの活躍も光った



# 躍動感あふれる熱戦

仙台市ミニテニス協会の秋季大会が昨年11月3日、同市青葉体育館で開かれた。協会創立翌年の1998年から始まった大会。行事の多い文化の日とあって参加数が懸念されたが、創立以来最多の49チーム、362人がエントリー。会場は選手たちの熱気に包まれた。

## 仙台市ミニテニス協・秋季大会

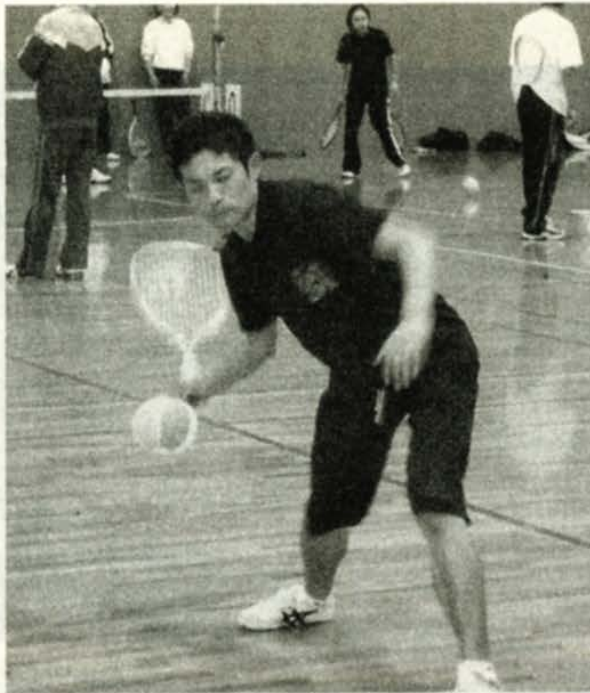
競技は3部制で実施。各部を二乗り、決勝戦に挑んだが惨敗だったのブロックに分けた予選は、特別。別リーグ戦で各チーム4試合を行い、上位1チームが決勝戦を実施する。予選は7ポイント3ゲーム、決勝戦は10ポイント1ゲームマッチで進めた。

1部決勝は、予選全勝同士の荒浜AーミニントAの対戦。前回惜敗した荒浜Aはもともと攻撃的なチームだが、今回は守備も光った。強打をうまくかわして、3-0で雪辱を果たした。

荒浜Aの末永薫さんは「今回は追う立場。イージーミスをなくし、チャンスボールはコースを狙って強打できた」と胸を張った。ミニントAの佐藤一臣さんは「予選では1ゲームも落とすことなく勢いに

つかみ損ねた。次回は勝つこと方強くりベンジを誓った。

2部は、国見ヶ丘Bが2-1で接戦を制し、富沢Aを下した。も



2部の試合で好プレーを見せる男子ダブルスの出場選手

## 最多49チーム、362人激突

う一步踏ん張りきれなかった富沢Aの横山桂子さんと佐藤恭子さんは「攻めきれなかった。悔しいです。この気持ちを忘れず練習に精進し、一つ一つのプレーの精度を上げたい」と声をそろえた。

3部は、松陵が3-0のストレートで六郷を制し、久々の優勝に輝いた。松陵で混合戦出場の大田久昭さんは「予選から厳しい試合が続いたが、少ないチャンスをものできた。決勝ではここが大事という場面で集中し、得点できたのが良かった」と試合を振り返った。六郷で男子ダブルスに出た堀口好道さんは「強い相手に全力でぶつかることができた。いい経験にしたい」と雪辱を次回の目標にした。

今大会は、技術を駆使し躍動感あふれるプレーを展開したチームが多かった。各チームの成長には目を見張るものがあった。

(仙台市・渡辺 勝利)



スポーツパークみやぎ

山形市ミニテニス協会秋季大会

南小泉(仙台)貫禄の勝利  
山形勢の成長も実感



特別賞のラ・フランスを前に優勝した南小泉チーム

山形市ミニテニス協会の秋季大会が10月30日、山形市総合スポーツセンターであり、仙台市若林区の南小泉と白石市のしろいし両ミニテニスチームが出場した。山形勢の先輩格である南小泉チームが優勝した。

山形市では3年前、日本ミニテニス協会の公認指導員と審判員の資格を持つ渡辺勝利仙台市ミニテニス協会長と私が、体育指導員を対象に講習会を開催。それからチームを立ち上げた。新しいチームながら成長が素晴らしい。これはうまくなるぞ」と感じた若い部員も多い。

山形市ミニテニス協会の田中紘子会長は「ようやくここまでたどり着きました。これからが楽しみです」と話した。私たち南小泉チームは平均年齢63歳の6人。紅葉を見ながらドライブし、試合をして新そばを

食べ、温泉に入って楽しんで来ましよう」と呼び掛けて参加した。「全然知らないチームや選手と対戦するのは楽しい。わくわくします」と小林静子さん。「仙台市大会で南小泉の3部チームが山形に3対0で負けていた。きょうは何とか勝ちたい」と、中峰清美さんはリベンジに燃えていた。大会のゲームは、女子ダブルス、混合ダブルス、男子ダブルスの順。1チーム6人で4試合ずつ戦った。南小泉としろいしの両チームが、辛うじて4勝し全勝。決勝戦はななく、得失点差で南小泉が優勝した。

「山形市のチームは若く、どんどん伸びている。近いうちに追い越されそうです」と、阿部みややさんは相手の若さをうらやましがった。「ミニテニス特有のドライブを掛けたスピードある球や、バウンドして真後ろに戻るカットボールが見られた。左右に曲がる変化球なども多くの皆さんができるようになってきた。南小泉のカットマン佐々木幸一さんは、山形勢の上達を褒めた。

優勝の特別賞は、山形特産のラ・フランス。うれしい賞品に感謝しながら、仙台市ミニテニス協会の秋季大会での再会を約束した。(仙台市・阿部 勝彦)

スポーツパークみやぎ

土曜日掲載

読者リポートを募集します

2の28、河北新報社編集局「スポーツパークみやぎ」読者リポート」係にお送りください。フアックス 022(211)1277・11506 電子メール sportsdesk@po.kahoku.co.jp 連絡先はフリーダイヤル (0120) 866666